



勉強のこと、いろいろ

来週から面談を始める。そこで、受験カレンダーを完成させていない人は、この土・日のうちに、できる範囲で完成させておくこと。いつかは考えなければならないことなので、受けてみたい大学・学部をすべて一覧にしてみるのだ。そうすることで、日程の重なりや、入学金の払い込み時期などを勘案しながら、最終的に出願する大学・学部を決めることができるようになるのである。受けてみたい大学・学部の入試日程が重なっていたなんてことがあるかも知れないし、とりあえず受けてみたい大学・学部を並べたててみたら、5日間連続で受験することになってしまったとか、そういうことが明確になるというわけだ。繰り返すが、ちゃんと作成してほしい。

*

色々な科目の添削指導を受け始めた人もいるだろう。先生方をしっかり「活用する」とともに、それに伴う礼儀を尽くすことにも心がけてほしい。

添削は、かなり大変な作業なのである。その大変な作業を先生方をお願いしていることを肝に銘じること。指導を受ける際には、しっかり打ち合わせ（やり方とか頻度とか…）をして、決めたことを自分の都合だけで安易に変更したり、無理なお願いをしたりすることがないように。君たちの真摯で礼儀正しい態度が、より親身な添削を導き出すことを忘れてはならない。

*

添削に際して「赤本」などを活用したくなるだろう。2階職員室に揃えてあるので、うまく活用してほしい。ちなみに、赤本の書架は、職員室の「ここより立ち入り禁止」の表

示よりも内部にあるので、「赤本を借ります」と声をかけてから書架の所に進もう。使い方を「進路通信」からもう一度引用しておく。

<赤本の借り方>

- 1 進路部の先生または学年の先生に言って、赤本の書架の鍵を開けてもらう。
* 進路部＝●田(生)、●部(英)、●(数)、●西(英)、●田(地)、●村(英)、●藤(数)、●浦(英)
- 2 「赤本貸し出しノート」(書架の横テーブル上にある)に、必要事項を記入して借り出す。
- 3 返却時も同じ。先生に声をかけて鍵を開けてもらい、もとの場所に本を戻して「赤本貸し出しノート」にサインしてもらう。

<注意点>

- 1 借りた本はその日にうちに返却すること。
* 多くの諸君の志望大学が重なっているため、借り出した後、問題と解答例をコピーし、赤本そのものは返却すること。みんなで使用していることを考慮して協力してほしい。
- 2 書き込みなどを決してしないこと。

*

センターの国語問題で不正解をすると、選択肢の違いを詳細に検討して考える人がいるが、それではドツボにはまるだけである。

そもそも間違えたということは、「本文そのものが読めていない」ということなのであって、「選択肢が読めていない」ということではないことを認識すべきだ。だから、選択肢の解説など読まずに、本文全体の解説を読んで、その本文を正しく理解する勉強を継続することが大切である。現代文も、問題文を何度も繰り返し読むことが必要なのである。